

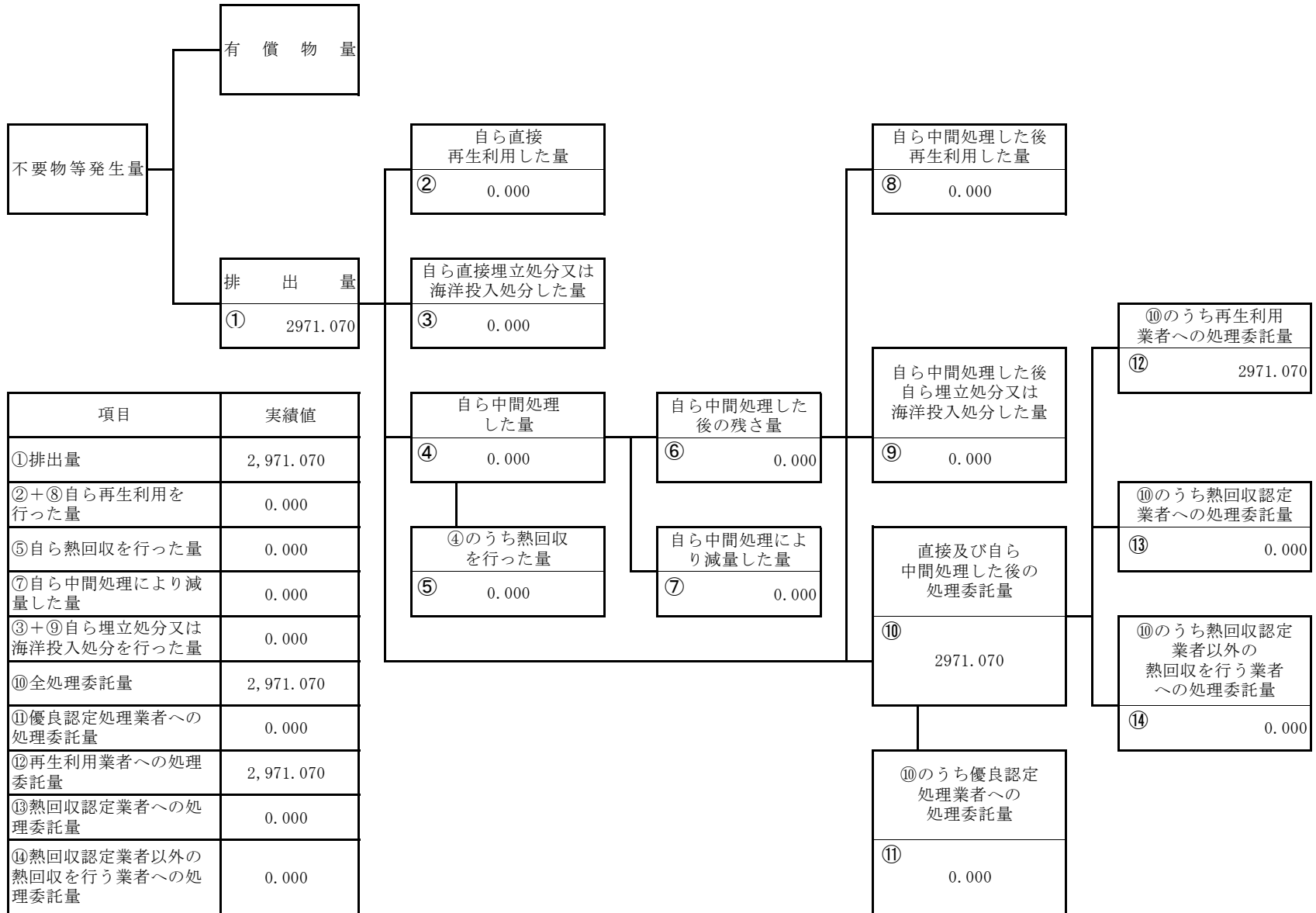
様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
2025年 6月30日			
愛知県知事殿			
届出者			
住所 愛知県海部郡蟹江町城四丁目351番地			
氏名 海部建設株式会社			
代表取締役 木全哲久			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 0567-95-2022			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2024年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	海部建設株式会社 鍋蓋工事事務所		
事業場の所在地	愛知県海部郡蟹江町南三丁目10番地		
事業の種類	総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	21,557.100 t	全処理委託量	21,557.100 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	597.980 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	0.0 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

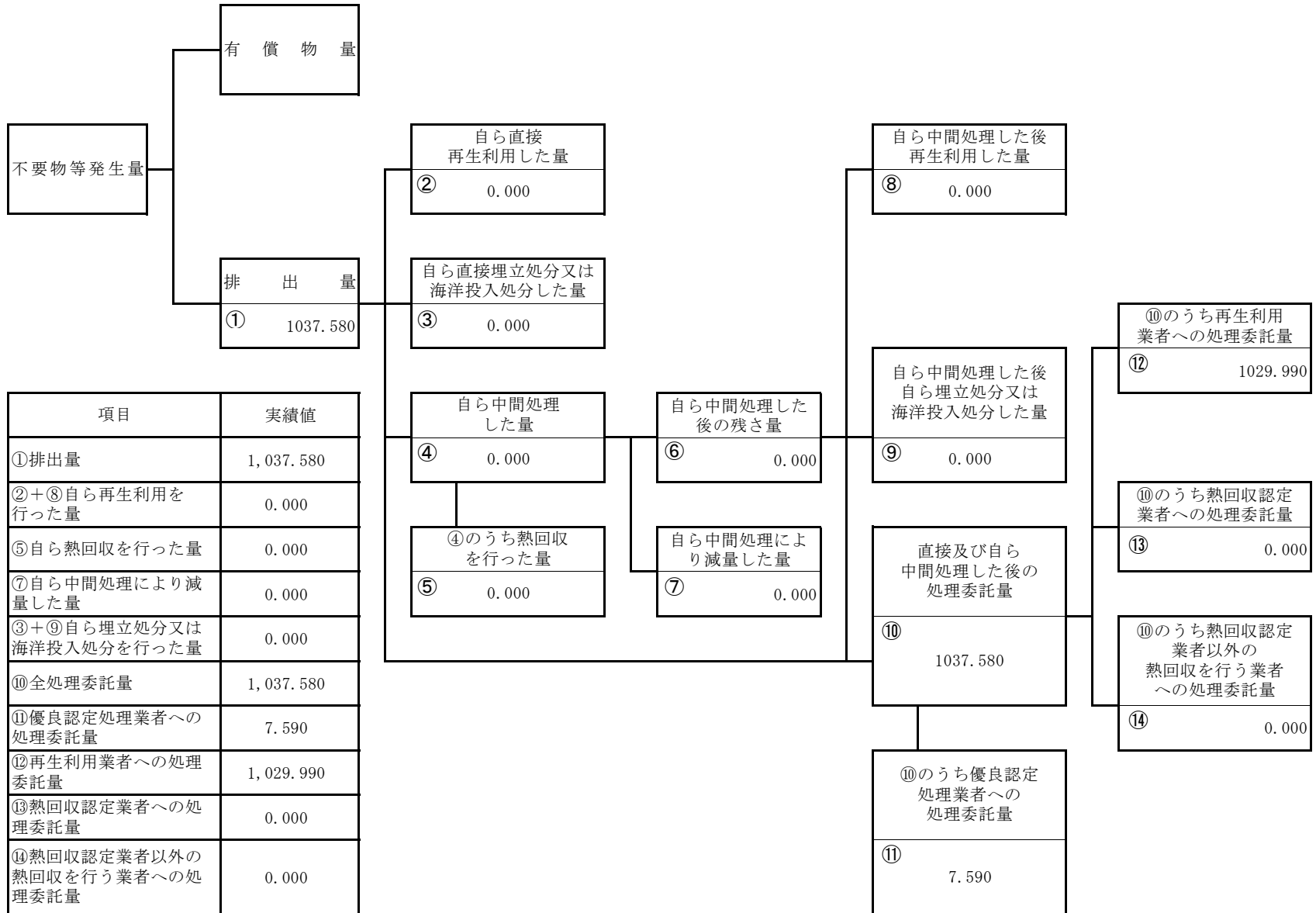
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 汚泥(無機性))



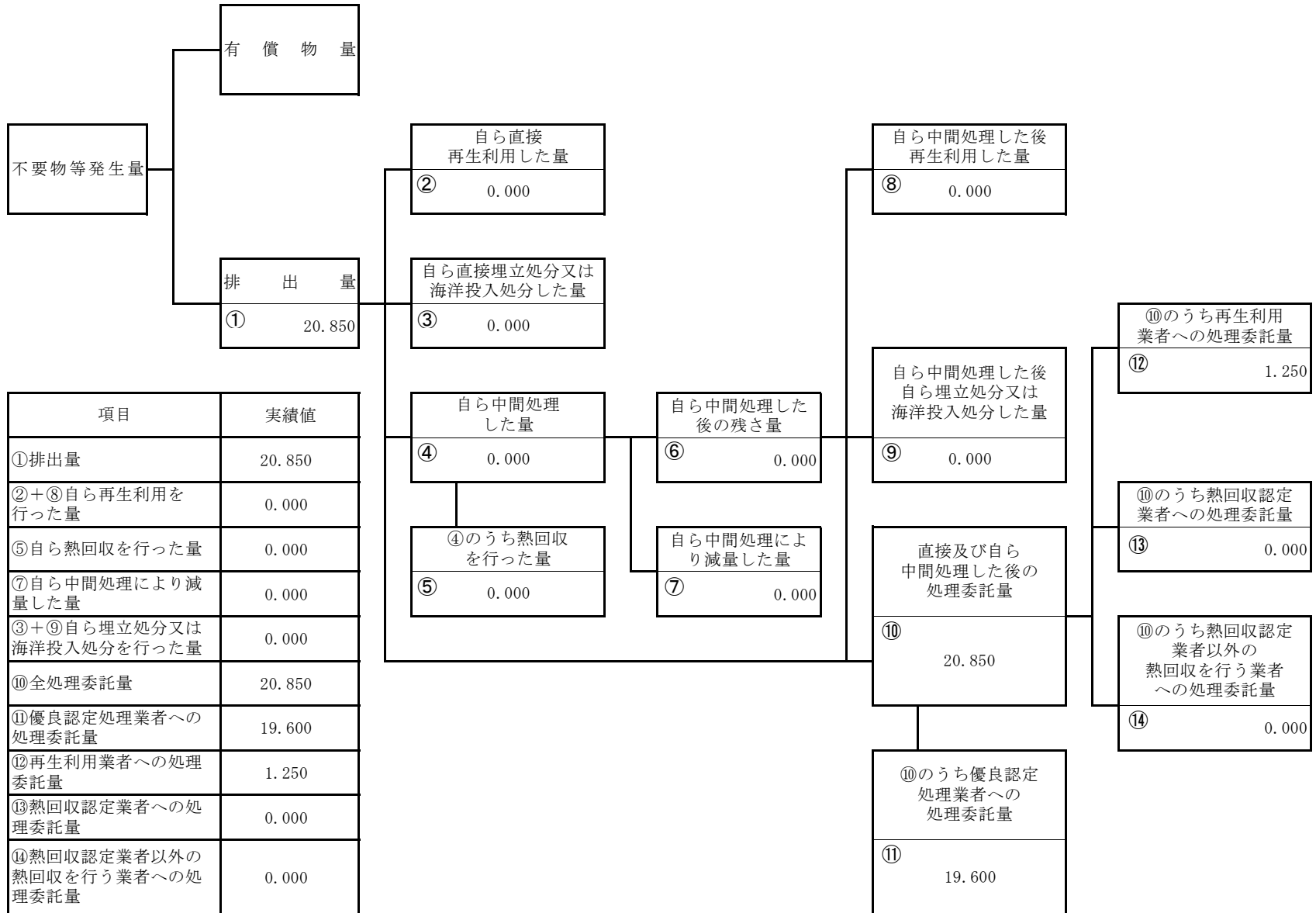
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 汚泥(建設汚泥))



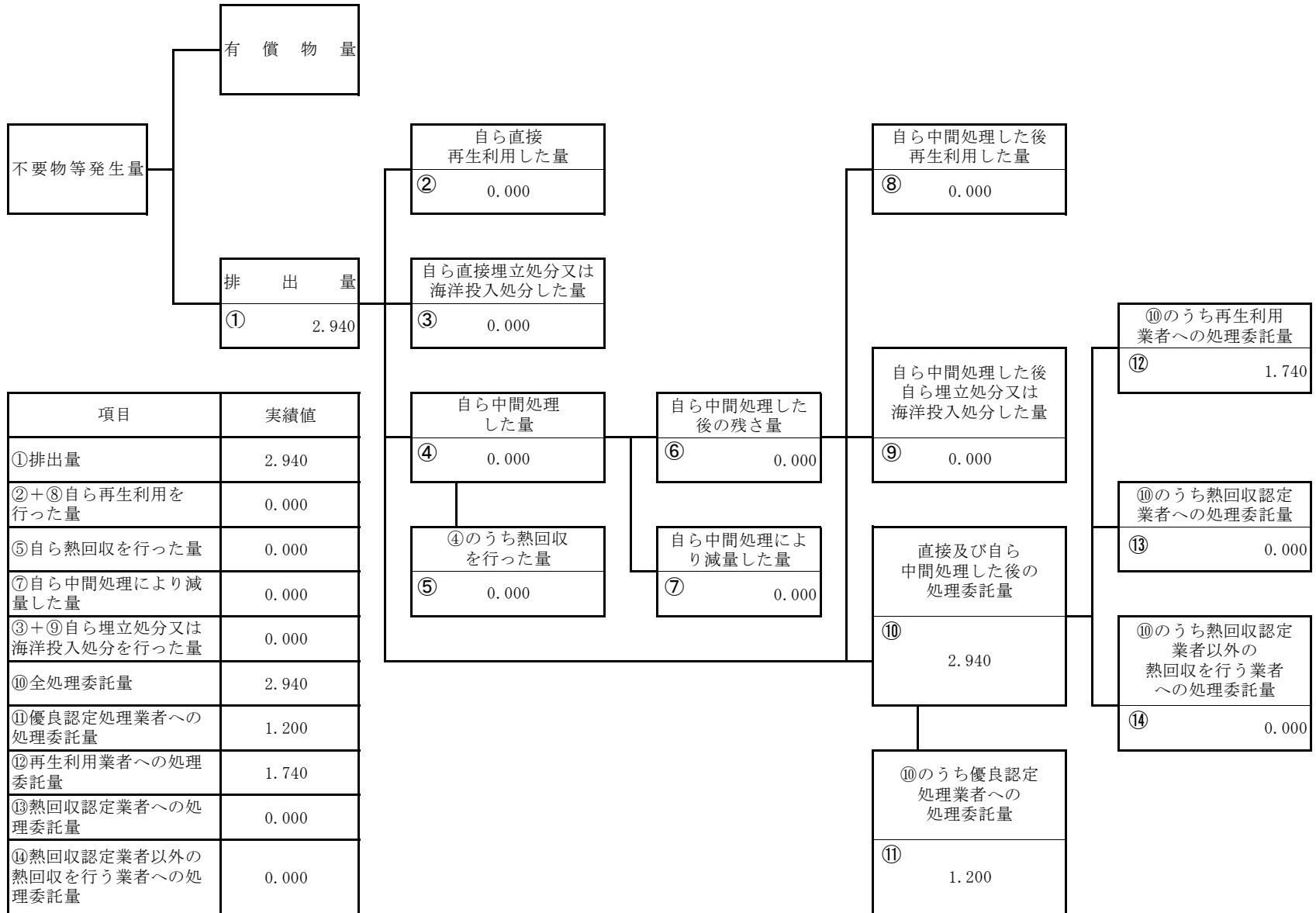
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 紙くず)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 木くず)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

① 28.520

自ら直接
再生利用した量

② 0.000

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③ 0.000

自ら中間処理
した量

④ 0.000

④のうち熱回収
を行った量

⑤ 0.000

自ら中間処理した
後の残さ量

⑥ 0.000

自ら中間処理によ
り減量した量

⑦ 0.000

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧ 0.000

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨ 0.000

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

⑩ 28.520

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪ 25.360

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫ 3.160

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬ 0.000

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

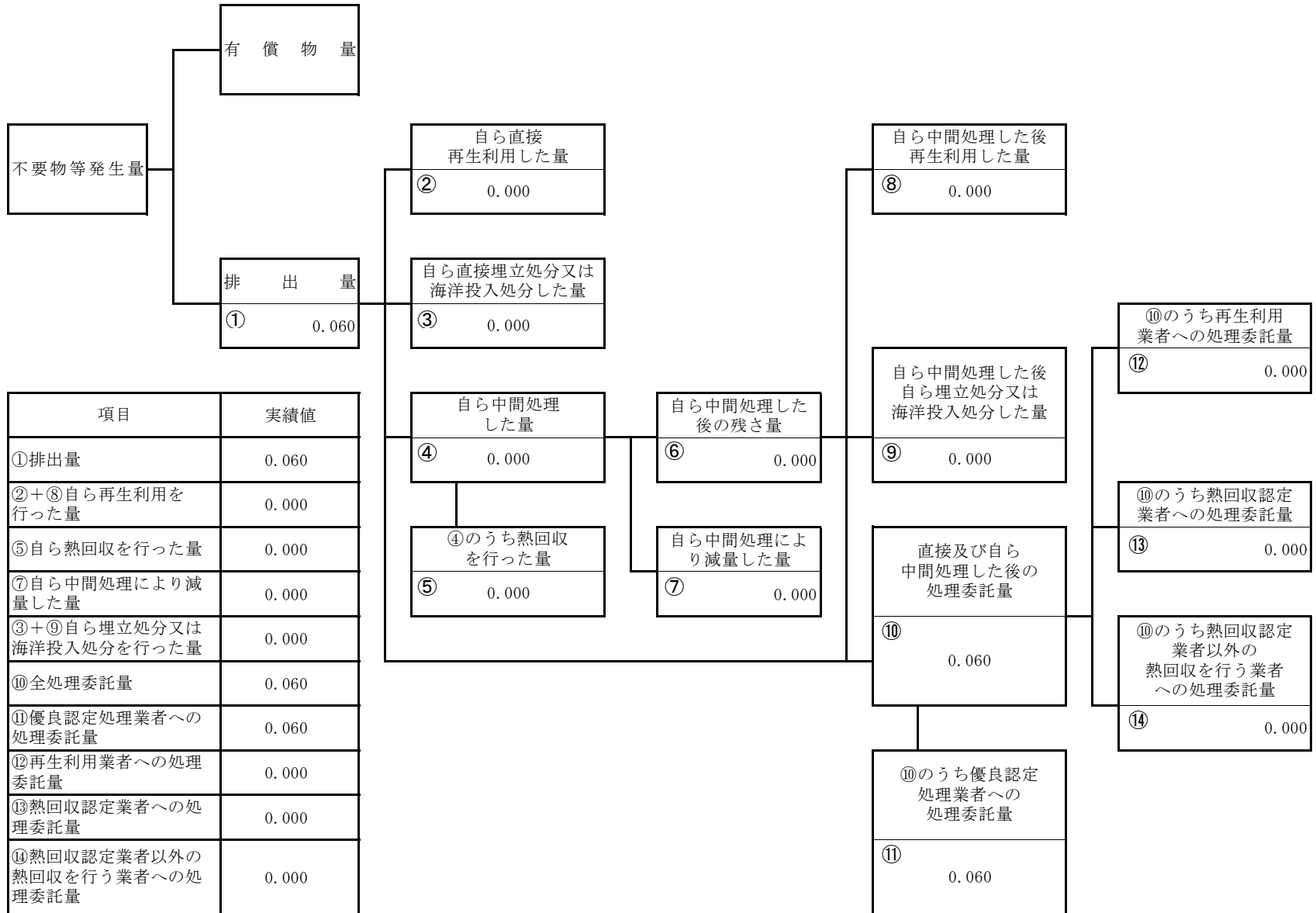
⑭ 0.000

項目	実績値
①排出量	28.520
②＋⑧自ら再生利用を行 った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減 量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	28.520
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	25.360
⑫再生利用業者への処理 委託量	3.160
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0.000

(第2面)

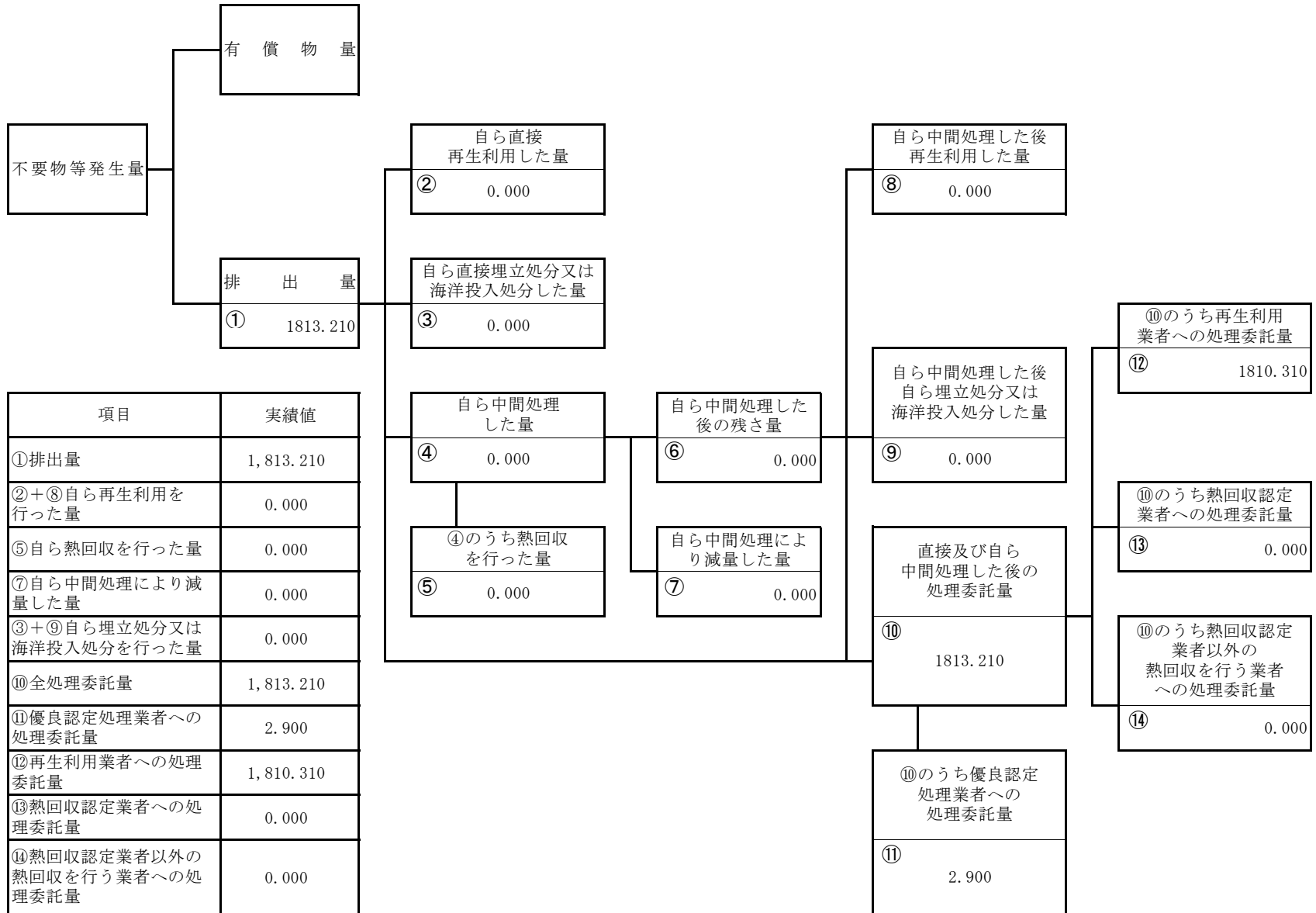
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 金属くず)



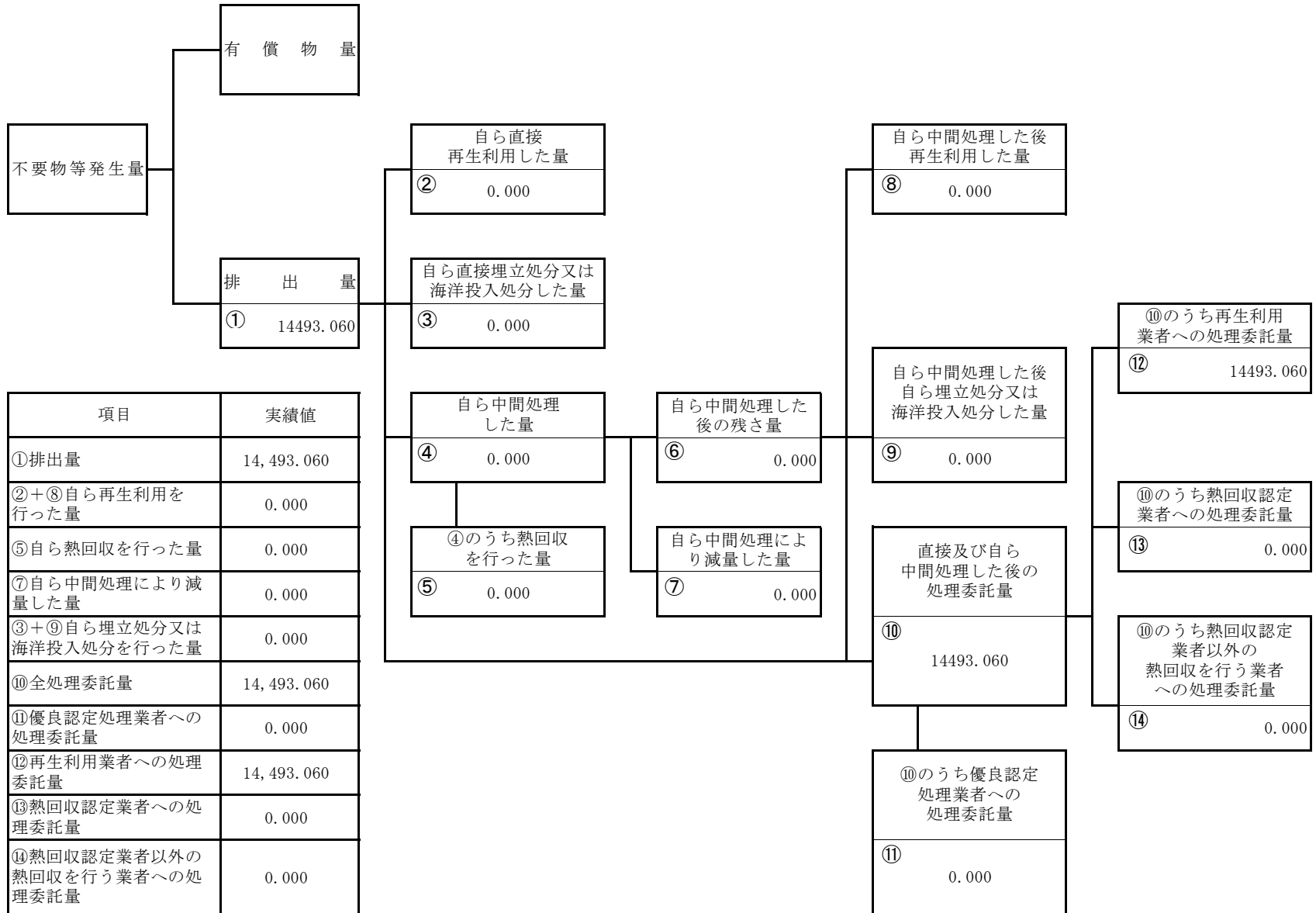
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき類(コンクリート))



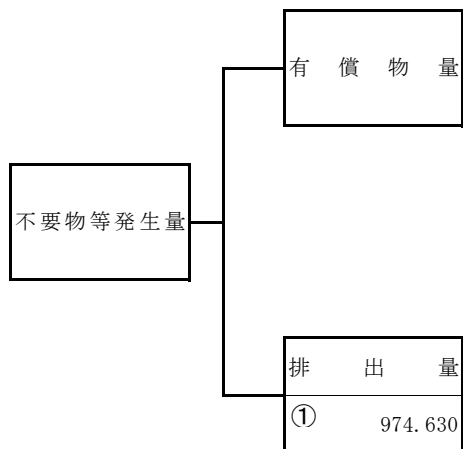
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき類(アスファルトコンクリート))



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき類(その他))



項目	実績値
①排出量	974.630
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	974.630
⑪優良認定処理業者への処理委託量	618.880
⑫再生利用業者への処理委託量	355.750
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

自ら直接再生利用した量

② 0.000

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

③ 0.000

自ら中間処理した量

④ 0.000

④のうち熱回収を行った量

⑤ 0.000

自ら中間処理した後の残さ量

⑥ 0.000

自ら中間処理により減量した量

⑦ 0.000

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧ 0.000

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨ 0.000

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩ 974.630

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪ 618.880

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ 355.750

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬ 0.000

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭ 0.000

(第2面)

(産業廃棄物の種類： 混合廃棄物)

不要物等発生量

排出量

自ら直接
再生利用した量

②	0.000
---	-------

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

③	0.000
---	-------

自ら中間処理
した量

④	0.000
---	-------

④のうち熱回収
を行った量

⑤	0.000
---	-------

自ら中間処理し
後の残さ量

⑥ 0.000

自ら中間処理に。
り減量した量

⑦ 0.000

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑧	0.000
---	-------

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑨	0.000
---	-------

直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量

46.530

⑩のうち優良認定
処理業者への
処理委託量

⑪	24.570
---	--------

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量

⑫	21.960
---	--------

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑬	0.000
---	-------

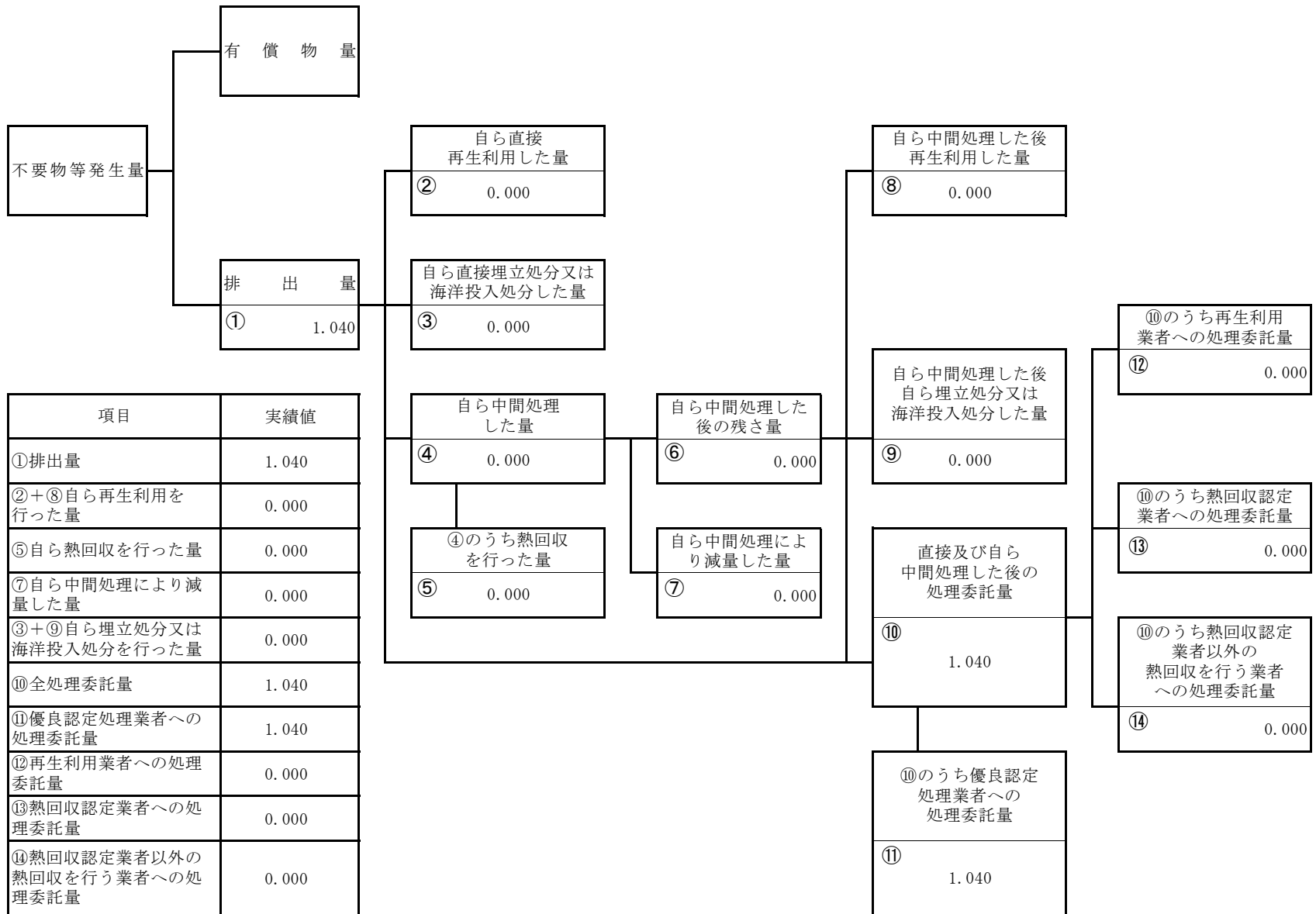
⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量

14	0.000
----	-------

項目	実績値
①排出量	46.530
②＋⑧自ら再生利用を行なった量	0.000
⑤自ら熱回収を行なった量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行なった量	0.000
⑩全処理委託量	46.530
⑪優良認定処理業者への処理委託量	24.570
⑫再生利用業者への処理委託量	21.960
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

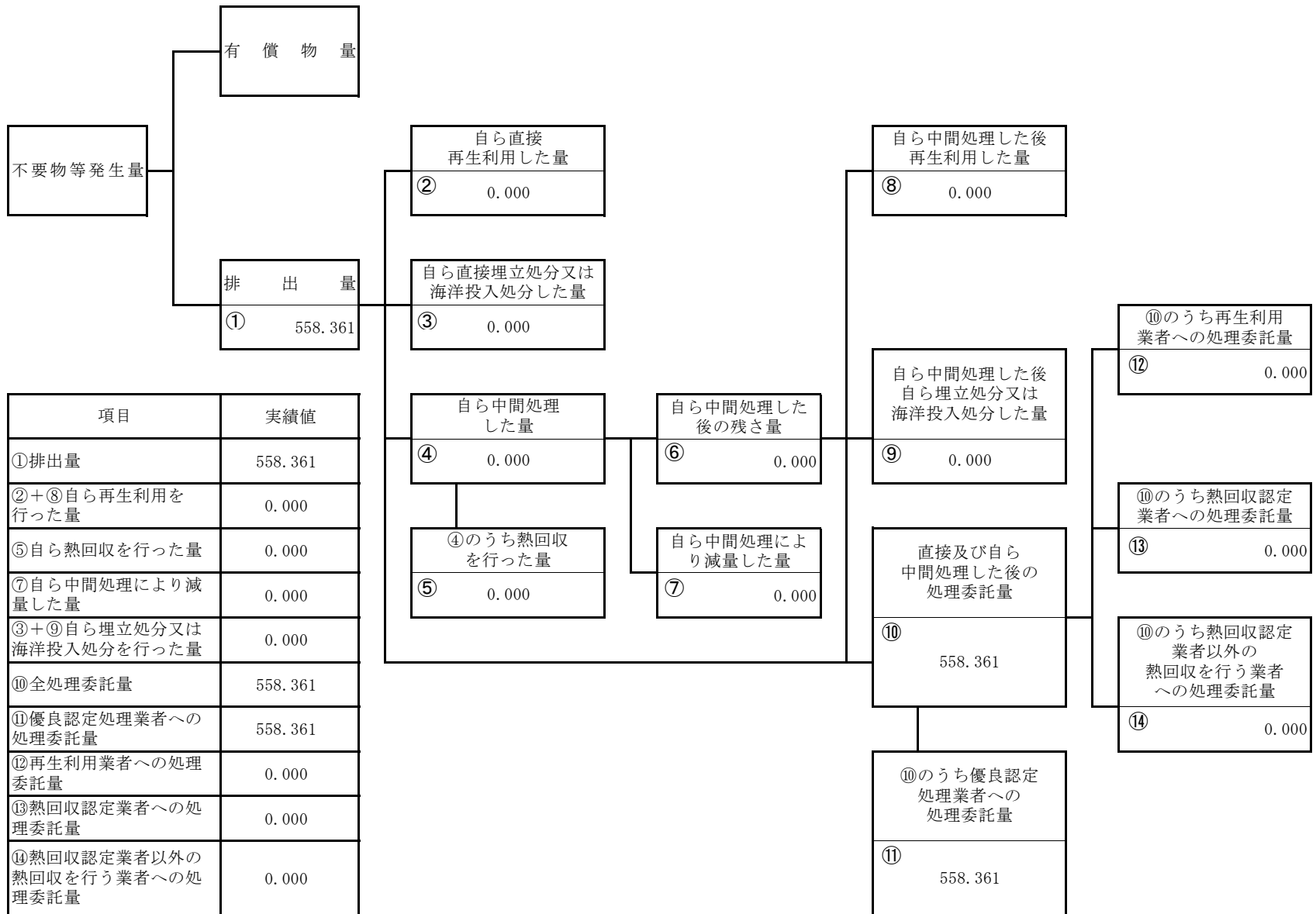
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 安定型混合廃棄物)



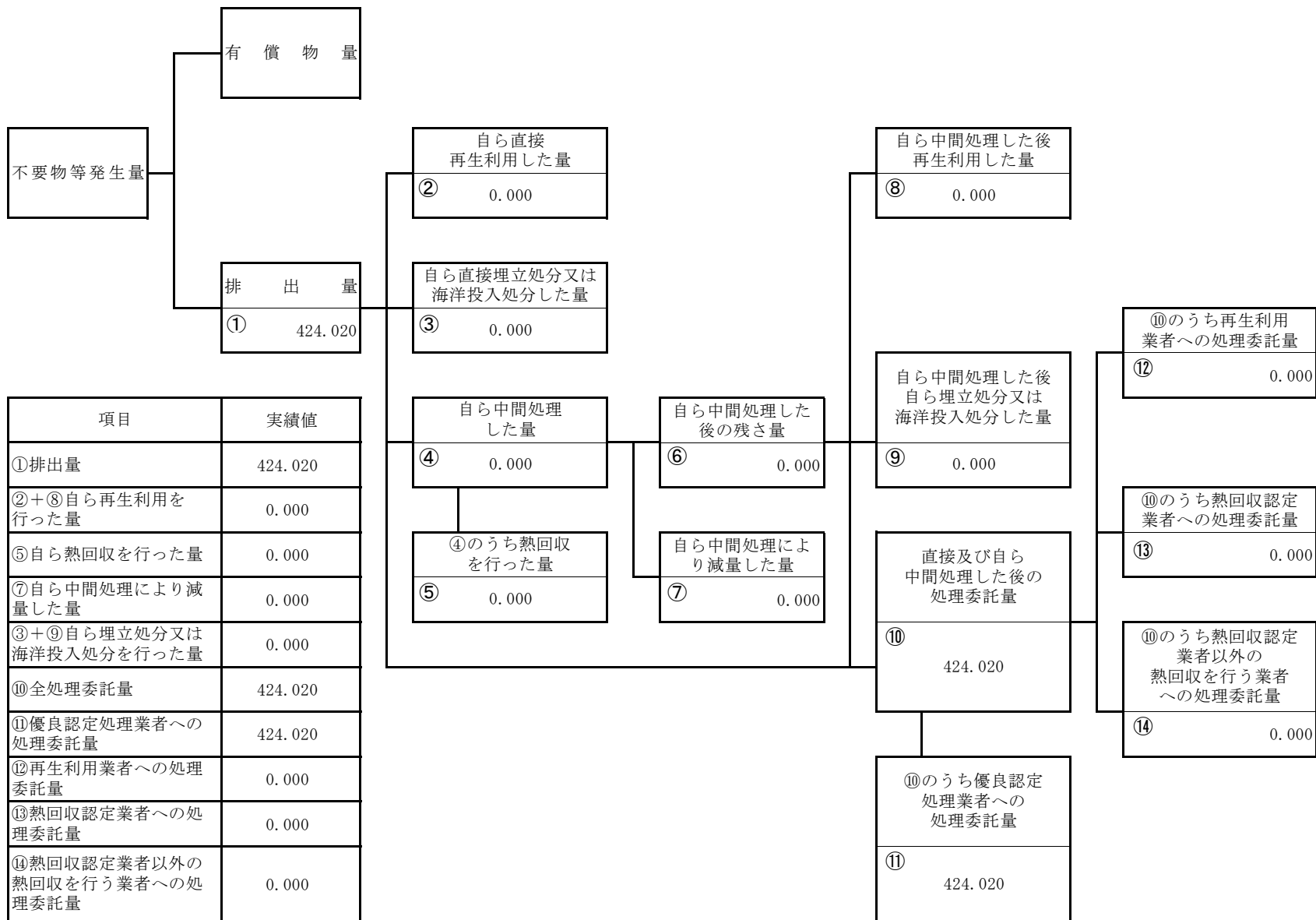
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 管理型混合廃棄物)



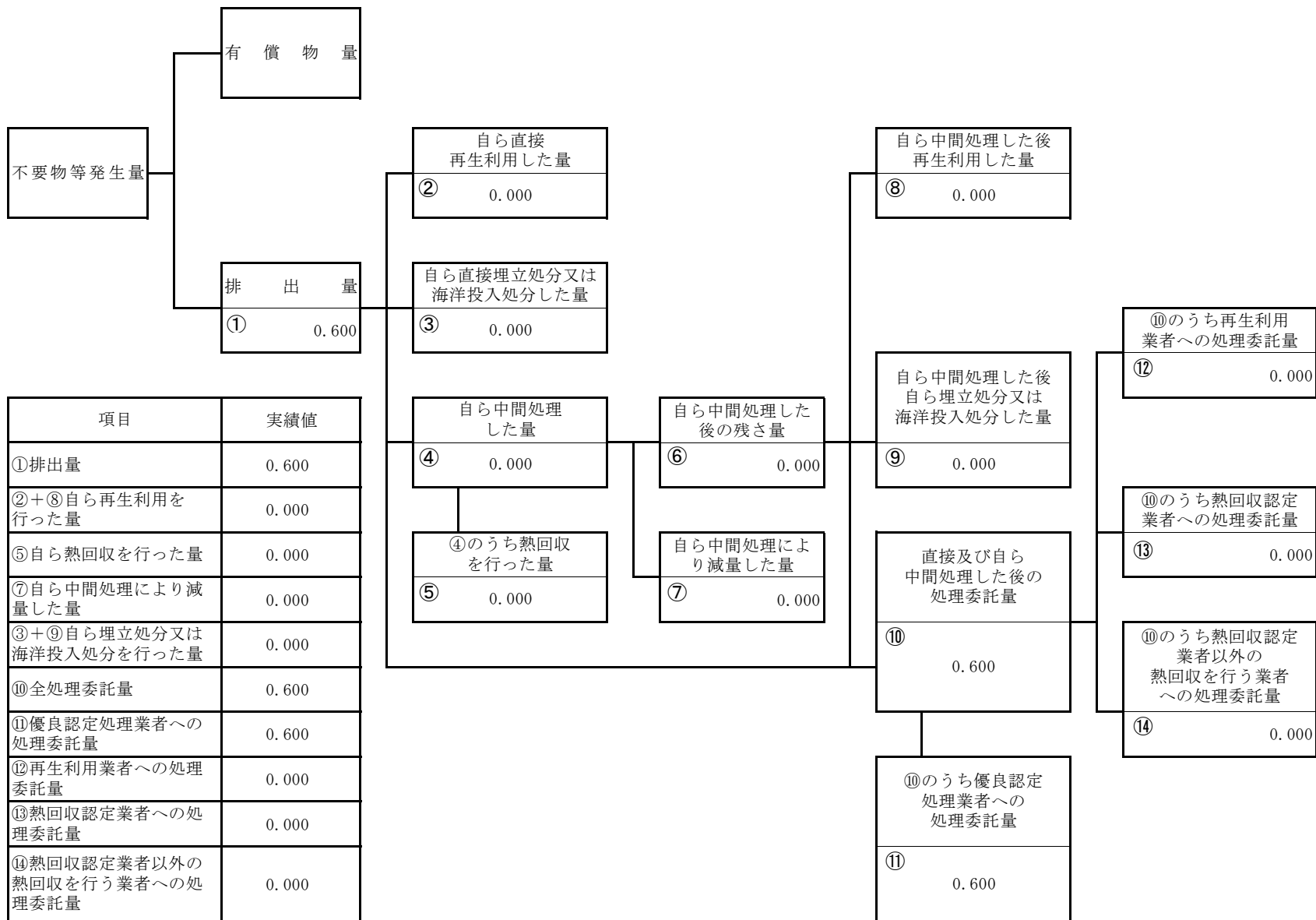
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 石綿含有産業廃棄物(がれき類))



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 特定有害産業廃棄物(廃石綿))



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。